

# ささえあい通信

第4号

(発行)2020年8月5日 富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係

つながりを切らない、孤立させない、  
新しいつながりを考える情報を各地区社協へ発信!!

精いっぱい、がんばります!!

～ どうぞ、よろしく願います ～

今年度より、富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係に配属となり、大富士、富丘、大宮西、芝川、柚野・稲子地区を担当することとなりました旭 克貴(あさひ かつたか)です。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、外出自粛や人との接触制限が求められる中で、地域福祉の活動を休止することが余儀なくされています。

こうした状況の中で、各地区社協、寄り合い处では、従来通りの活動ができなくても、「今できることをやっていきたい。」という声をたくさん聞かせていただいています。こうした地域の皆様の福祉に対する熱意に添えていけるよう、日々、英知を磨いていきたいと思っています。

人口減少と超高齢社会の最重要課題は「助けあい」と「ささえあい」です。助けあい、ささえあい、“ひとりでも安心して暮らせる地域づくり”に取り組んでいきたいと思えます。精一杯、がんばってまいりますので、皆様のご指導、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

しかし、大富士地区社協では、住民どうしのふれあいや、つながりの希薄化が懸念される中で、ひとり暮らし高齢者の孤立を防止するため、ひとり暮らしで70歳以上の方を対象に、配食サービスを行うこと、福祉を住民に知らせる広報事業についても、地区社協の活動への理解と参加を図るための広報紙づくりも進めていくことになりました。

また、大富士地区は外国人の居住が増加しており、それに合わせて外国人の子どもも増えてきているという特徴があります。言葉の壁によって、孤独な育児を強いられている人もおり、地域との関わりが難しい状態となっていることから、次年度以降にはなりますが、地域の情報を伝えることや、地域での関係性を作るためのきっかけ作りを進めていくこととなりました。

なお、今年度、新しく推進委員になられた方が多いということで、「地区社協とは何か」というテーマで学習会を開催し、地区社協についての理解を深め、地域福祉の推進を一步進めていくことになりました。

地区社協は、地域福祉を推進する基礎組織であり、福祉を必要とする住民を支援していく役割を持つ団体です。福祉を必要とする住民とは、不安・悩み、老い、病、障がい、いじめ、虐待、困窮、孤独、孤立等、生きづらさを抱えている人たちであり、言葉や態度で自ら訴えることのできない人たちであると思えます。そうした人たちの存在に気づき、支えていくことができる地域をめざすため、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



▲役員会で活発な議論を展開

## コロナ禍での事業計画を検討

～ 大富士地区社協 役員会 ～

7月8日(水)、大富士地区社協では、今年度第1回目の役員会が開催され、今年度の事業計画についての検討が行われました。

新型コロナウイルスの影響により、大富士小まつりやふれあいウォーキングなど、大勢の人が集まることが想定されるものは中止せざるを得ない状況となりました。